

キャリア教育推進全体計画

教育目標

知・徳・体の調和のとれた、国家及び社会の有為な形成者としての資質を養う。

教育活動における重点目標

【教育活動方針】

- (1) 生徒個々の学習する権利を保障し、学習の機会の拡大や学習内容の創意工夫に努める。
- (2) 生徒個々の人格を尊重し、生徒が互いの人格を尊重しあう人間関係の創造をめざす。
- (3) 生徒自身の気づきと自分をよりよく生かす自己理解の学習を教育の重要な内容とする。

【教育活動における重点目標】

- (1) 学ぶ力の育成
 - ア 基礎的な学力と自学学習をする力の育成
 - イ 課題を発見し解決しようとする力の育成
 - ウ 知識を統合し、他に活用する応用力の育成
- (2) 創る力の育成
 - ア 共に生き共に創る生活を創造する力の育成
 - イ 人格を尊重しあう人間関係を築く力の育成
 - ウ 自分の考えを相手に適切に伝える力の育成
- (3) 生きる力の育成
 - ア 自分を知る（自己理解）力の育成
 - イ 自分を守る（自主自律）力の育成
 - ウ 自分を創る（自己創造）力の育成

神奈川県立高校におけるキャリア教育取組の目標

〔ねらい〕（県キャリア教育実践推進プランより）

- ・生徒一人ひとりが一生をとおした自己の生き方、あり方について考え、勤労観、職業観を身につけることができるよう、高校3年間を見通した計画的なキャリア教育を展開することをめざした総合的な取組を実施する。

〔推進の基本方向〕（県キャリア教育実践推進プランより）

- ・一人ひとりのキャリア発達への支援
- ・働くことへの意欲・学習意欲の向上
- ・職業人としての資質・能力の向上
- ・自立意識の涵養と豊かな人間性の育成

キャリア教育により育む生徒像

【自己探究 自己創造 自己確立】

キャリア教育の方針 「人を知る、自分を知る、社会を知る、自分を伸ばす」

- (1) 学ぶ意義の理解による積極的に学ぶ姿勢の向上
- (2) 社会との関わりの中で主体的に生きる自立性の涵養
- (3) 自己理解に基づく将来像の構築（＝キャリアデザイン力）と自己実現

キャリア教育の目標 「自己形成」

- (1) 人として必要な資質・能力及び社会的適応力の育成
- (2) 将来にわたって「自分らしく生きる力」の育成
- (3) 体験的学習等によるPDCAサイクル思考力と修正力の育成

キャリア教育推進全体計画－具体的方策

キャリア教育により育みたい諸能力 —5領域 10能力— 上段：領域、下段：能力									
自己教育能力		人間関係能力		情報活用能力		将来設計能力		意思決定能力	
自己理解能力	自己表現能力	他者理解能力	コミュニケーション能力	情報収集活用能力	職業理解能力	役割把握認識能力	計画実行能力	選択決定能力	課題解決能力
<p>キャリア教育【指導目標】</p> <p>(1) キャリア教育の推進による教育内容の充実を図る。</p> <p>(2) キャリア教育と進路指導の充実による、主体的な将来設計能力の育成と、進路実現をめざす。</p> <p>(3) キャリア教育の推進による自立性、社会性の涵養と、主体的に行動できる態度を育成する。</p>									

学年目標

第1学年	第2学年	第3学年
自己理解を深め、社会や職業に対する意識を高める。	自らの役割を意識し、社会に生きるための意識を深める。	進路実現に向けて、各自の課題に計画的に取り組む。

各領域における指導内容

各教科	特別活動			総合的な学習	その他の活動
	HR活動	学校行事	生徒会活動		
①授業で、成就感・達成感を育む。 ②基本・基礎の定着を図り、学習意欲を高める。 ③自他の生き方を探求し、社会の変化等を学び、進路選択の力を身に付ける。 ④自己の能力、適性を知り、それを伸ばさせる。	①生徒一人ひとりがクラスでの役割を持ち、責任感と存在感を持てるようにする。 ②コミュニケーションによる人間関係の構築の大切さを学び、社会の一員としての役割を学ぶ。 ③他者の個性を尊重、理解し、自己理解の認識を深める。	①様々な役割を通して、周囲とのコミュニケーション能力を養う。 ②行事の計画、準備、行動全般を通して、達成感・自己有用感を育む。 ③自主的・自発的な活動を通して、主体性を涵養する。 ④他者の個性を尊重、理解し、自己理解の認識を深める。	①学校生活の充実・改善を図ることで、課題解決能力や計画実行能力を培い、社会性を高め、個性の伸長に努める。 ②部活動は人間関係能力を高める重要な場であり、様々な困難を克服することで強い意思力を育む。	①「自己の在り方生き方を考えることができるようにする」(学習指導要領より) ②自ら課題を設定し、その解決のために、自ら考え、主体的に行動できる人材を育む。 ③課題研究を進めることによって、探究心と自己表現力を養う。	①積極的な生徒指導の充実を通して、規範意識やマナーを育む。 ②「人とかかわる力」を育成し、協働の心を育む。 ③保護者、地域社会、幼保小中・上級学校等と連携を図り、連携ネットワークを構築する。 ④就労体験・奉仕体験等による自己有用感、社会性を育む。

校内指導体制

外部連携	内部連携	学力向上
①外部指標を活用して自己の学力を把握させ、高大等連携等の活用と併せて、学ぶ意義の理解、学習意欲の向上をめざす。 ②地域連携を深め、社会性を身に付ける。 ③同窓会とタイアップしながらキャリア教育を推進する。 ④就労体験・奉仕体験の重要性を説き、積極的に参加を促す。 ⑤国際教育の推進により、思考力・判断力・表現力を高める。	①生徒指導の充実による規範意識、マナーを涵養する。 ②教科指導、特別活動等含め、全ての分野におけるキャリア教育を実践する。 ③保健室、スクールカウンセラーとの連携による教育相談体制を充実する。 ④ガイダンス機能とカウンセリング機能の充実による支援体制を確立する。 ⑥安心・安全な学校生活を送るための環境整備を推進する。	①基本・基礎の定着、さらには応用力につなげるための授業改善を図り、学習意欲を高める。 ②自ら学習する姿勢を養うため、自習室の整備等、校内の環境整備を進める。 ③家庭学習習慣を確立させるよう、「大和西ドリームプロジェクト」を推進する。 ④プレゼンテーション、小論文指導の機会を設け、自己表現力を高める。 ⑤取得可能な資格の拡大と推進を図る。

キャリア教育推進プロジェクトーキャリア教育で育む諸能力マトリクスー

教育活動における本校の重点目標	<p>(1)学ぶ力の育成 ・基礎的な学力と自学学習をする力の育成・課題を発見し解決しようとする力の育成・知識を統合し他に活用する応用力の育成</p> <p>(2)創る力の育成 ・共に生き共に創る生活を創造する力の育成・人格を尊重しあう人間関係を築く力の育成・自分の考えを相手に適切に伝える力の育成</p> <p>(3)生きる力の育成 ・自分を知る(自己理解)力の育成・自分を守る(自主自律)力の育成・自分を創る(自己形成)力の育成</p>		
キャリア教育テーマ	<p>(1)学ぶ意義の理解による積極的かつ主体的に学ぶ姿勢の向上</p> <p>(2)社会との関わりの中で主体的に生きる自立性の涵養</p> <p>(3)自己理解に基づく将来像の構築と自己実現</p>		
キャリア教育目標	<p>(1)社会に出るのに必要な資質・能力及び社会的適応力の育成</p> <p>(2)将来にわたって「自分らしく生きる力」の育成</p> <p>(3)体験的学習等によるPDCAサイクル思考力と修正力の育成</p>		
キャリア教育発達課題	第1学年	第2学年	第3学年
	<p>【人間関係・自己教育能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や人間関係を生かす。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け容れる。 ・自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解する。 	<p>【人間関係・自己教育能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け容れて伸ばそうとする。 ・場に応じた適切なコミュニケーションをとることができる。 	<p>【人間関係・自己教育能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップ・フォロアーズシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 ・互いに支え合いわかりあう友人を得る。
	<p>【情報活用能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を、体験を通じて理解し習得する。 	<p>【情報活用能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業等の社会参加や上級学校等に関する探索的・試行的な体験に積極的に取り組む。 ・就職や上級学校等の試験方法や手続きなどについて理解する。 ・調べたことなどを自分の考えを交え、各種メディアを通して発表・発信する。 	<p>【情報活用能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。 ・職業生活において必要な権利・義務の知識、技能の習得に努める。 ・就職後の学習の機会や上級学校卒業時の就職等に関する情報を探索する。
	<p>【将来設計能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。 ・生きがい・やりがいがあり、自己を活かせる生き方や進路を現実的に考える。 	<p>【将来設計能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。 ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 	<p>【将来設計能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来設計、進路計画の見直し再検討を行ない、その実現に取り組む。 ・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。
	<p>【意思決定能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択基準となる自分なりの価値観、職業観・勤労観を持つ。 ・自分を活かした役割を果たしていくうえでのさまざまな課題と解決策について検討する。 	<p>【意思決定能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想と現実との葛藤経験等を通し、さまざまな困難を克服するスキルを身に付ける。 ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。 	<p>【意思決定能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で当面の進路を主体的に選択する。 ・将来設計、進路希望の実現をめざして、課題を設定し、その解決に取り組む。 ・選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たす

キャリア教育の学年目標	第1学年	第2学年	第3学年
	自己理解を深め、社会や職業に対する意識を高める。	自らの役割を意識し、社会に生きるための意識を深める。	進路実現に向けて、各自の課題に計画的に取り組む。
	<p>【自己教育能力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己分析と自己理解によって、選択基準となる自己の価値観を涵養する。 目的や場に応じた適切な自己表現を通して、自分の考えや意見を論理的、効果的に説明し、自己を教育する。 	<p>【情報活用能力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路や職業に関する様々な情報を収集、検索し、自己の進路や生き方を考察する。 自己の能力、適性等を含め、進路選択となる人生観、勤労観、職業観を確立する。 社会規範やマナーを習得し、社会的適応力を身に付ける。 	<p>【意思決定能力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で主体的に選択し、実現に向けて取り組む。 希望する進路の実現に向けて自ら課題を設定し、問題や葛藤を克服しながらその解決に取り組む。
	<p>【人間関係能力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを図り、協力・協働して取り組む姿勢を育成する。 他者の個性を尊重、理解を通して自己理解を深め、自らの目標を設定する。 	<p>【将来設計能力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の現実を踏まえ、目標とすべき自己の生き方・進路を明確にした将来設計を吟味し、今後の学習や活動を理解する。 様々な体験を通して、多様な役割を認識し、自らの価値観、職業観を検証する。 	

年間活動計画

	第1学年	第2学年	第3学年	キャリア諸能力				
				自己	人間	情報	将来	意思
一 学 期	進路希望調査	進路希望調査	進路希望調査	○			○	○
	スタディサポート	スタディサポート	模擬試験	○		○	○	
	オリエンテーション			○	○			
	進路のしおり	進路のしおり	進路のしおり			○	○	○
			進路ガイダンス			○	○	○
		修学旅行事前学習			○	○		
			推薦入試説明会			○	○	○
	面談週間 (2者面談)	面談週間 (2者面談)	面談週間 (2者面談)	○	○	○	○	○
	生徒会 立会演説会	生徒会 立会演説会	生徒会 立会演説会		○	○		○
			専門学校説明会			○	○	○
			就職説明会			○	○	○
			進路相談	○	○	○	○	○
	選択科目説明会	選択科目説明会		○		○	○	○
			センター入試説明会			○	○	○
	アルコール・禁煙教育講演会			○	○	○		
	三者面談	三者面談	三者面談	○	○	○	○	○
	夏期補習・講習	夏期補習・講習	夏期補習・講習	○		○		
	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	○	○	○	○	○
職場見学	職場見学	職場見学	○	○	○	○	○	
オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	○	○	○	○	○	
ボランティア活動	ボランティア活動	ボランティア活動	○	○	○	○	○	
二 学 期		薬物教育講演会		○	○	○	○	○
			推薦入試説明会			○	○	○
			一般入試説明会			○	○	○
		海外修学旅行		○	○	○		
	イングリッシュキャンプ			○	○	○		
			センター入試説明会			○	○	○
			面接指導	○	○	○		
	キャリア教育講演会 (国際教育)				○	○	○	
	人権教育講演会			○	○		○	
	地域貢献デー	地域貢献デー	地域貢献デー	○	○		○	
	分野別進路ガイダンス				○	○	○	
三 学 期		小論文指導		○	○	○		
	模擬試験	模擬試験		○		○	○	
	修学旅行事前学習			○	○	○		
	ドリームチケットプロジェクト		卒業生を囲む会	○	○	○	○	○

平成29年度 シチズンシップ教育への具体的な取組内容

別表「年間活動計画」のとおりキャリア教育実践プログラムを実施する予定である。
項目ごとに整理すると次のとおりになる。

①政治参加教育

(目的) 政治意識を高め、主体的に政治に参加する意欲と態度を養う。

- (内容) 1. 3年必修科目「政治経済」の中で、選挙制度について学習する。
2. 生徒会役員選挙の投票方法を実際の選挙に近い形式で実施する。

②司法参加教育

(目的) 司法制度を理解し、主体的に司法にかかわる意欲と態度を養う。

(内容) 「総合的な学習の時間」や3年の「政治経済」の中で、新聞記事、社説、コラム等を活用した学習を実施する。

③消費者教育

(目的) 消費者としての基本的な権利と責任を学び、主体的に社会を形成する意欲と態度を養う。

- (内容) 1. 1年次の「家庭総合」の中で、「消費者教育」について学習する。
2. 1年次の「社会と情報」の中で「インターネット」の危険性やモラルを学習する。

④道徳教育

(目的) モラルやマナーの意識を高め、主体的に社会にかかわる意欲と態度を養う。

- (内容) 1. 1年次(合格者説明会)に「携帯電話教室」を実施する。
2. 1年次に「アルコール・禁煙教育講演会」を実施する。
3. 2年次に「薬物教育講演会」を実施する。
4. 1,2年次に「人権教育講演会」を実施する。
5. 全学年で「地域貢献デー」を設定して、地域ボランティア活動を実施する。